

へら鮎釣りの道具

へら鮎釣りの道具は色々なものがあります。釣り場（管理釣り場・釣り堀・野釣り）によって必要になる道具は変わりますが、ここでは、釣りができる最低限必要な道具を紹介します。

さお 竿
へら鮎釣りでは、“へら竿”と呼ばれる専用の竿を使います。長さは1尺刻みに何種類もありますが、まずは8尺を手に入れるとよいでしょう。

みちいと 道糸
およそ竿の長さと同じになるメインラインです。太さは季節やねらうへら鮎の大きさによって変えますが、一般的な号数は0.8~1号。この号数を基準とします。

ハリ
魚を掛ける道具でエサもこのハリに付けて投入します。エサの種類や魚の大きさなどによって大きさを使い分けします。ハリとハリがあらかじめ結んであるセットもありますので、最初はそれを利用するとよいでしょう。

へらウキ

へら鮎釣りはウキの動きを見て釣ります。へらウキは繊細にできており、水中にあるエサに反応した魚の動きを表現してくれます。エサを食った合図であるアタリ、寄ってきた合図であるサワリなどを見極めて釣ります。このウキの動きを読んで釣るのが、へら鮎釣りの醍醐味でもあります。

ハリス
へら鮎釣りでは2本のハリで釣るのが一般的です。ハリをハリスと結び、それを道糸に取り付けたヨリモドシに結びます。号数は道糸の半分を目安にします。

ウキゴム ウキ止めゴム

道糸にウキを取り付けるための小物です。使い方は仕掛け作りの項を参照ください。

ヨリモドシ

道糸とハリスを接続するための小物です。使い方は仕掛け作りの項を参照ください。



エサ

へら鮎釣りは、麩やグルテンに水をくわえて混ぜ合わせて使う練りエサを使用します。釣り方に合わせて様々な種類があります。使い方はエサ作りの項を参照ください。

エサボウル



プラスチック製の洗面器のようなものです。この中でエサを作ります。水をくんでおいて手を洗ったりもするので、3個以上は用意しておきます。

計量カップ



エサを作る時に、エサの量や水量を正しく計るために使用します。サイズ違いを揃えておくと便利です。

板オモリ



へら鮎釣りで使うオモリは板オモリが一般的です。それはハサミで切って使えるのでオモリ量の調整が簡単だからです。使い方は仕掛け作りの項を参照ください。

ハサミ

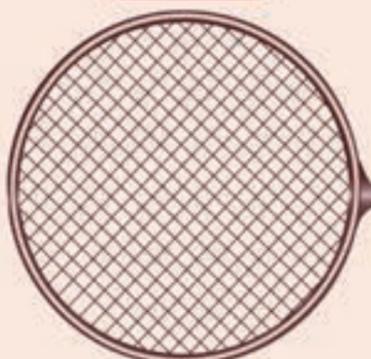
糸や板オモリを切るための道具。かならず用意しましょう。



座布団 (クッション)

へら鮎釣りは長い時間座って釣るので、座布団を使用します。専用のクッションが市販されており、段差がついたものについてないものがあります。

たまあみ 玉網



釣った魚をすくうための網です。へら鮎釣りでは掛けた魚を寄せてきて、玉網ですくってキャッチします。玉網はタモとも呼びます。

竿掛け・万力



へら鮎釣りでは、エサを投入後に竿を持ってアタリを待ちます。この時、竿を置いておくための道具が竿掛けです。そしてこの竿掛けを固定するための道具が万力です。竿掛けと万力はセットで揃えるとよいでしょう。

